



名古屋大学における1年間の流れを紹介します。大学の特徴として、春学期と秋学期の2学期制であることと、夏休み・春休みがそれぞれ約2ヶ月と非常に長いことがあげられます。大学生活を有意義に過ごすために、学年暦を把握して今のうちから年間計画を立てておきましょう！

仮装行列 / 5月中旬

名大祭のアピールとして1年生が仮装して街を練り歩きます。クラスごとにコンセプトを決め、それに合った仮装をします。個性豊かな仮装をするため、見ているだけでも面白いです。またこれを機に交友関係が広がるので、積極的な参加をお勧めします。仮装行列のあとには、仮装をしたまま参加するお楽しみ行事もあります。

名大祭 / 6月上旬

今年で67回目になる名大祭は、東海地区最大規模の学園祭で例年5万人が訪れます。毎年サークルの発表が行われ、メインストリートに模擬店が出店されます。フリーマーケットや豊田講堂特設ステージでバンドやダンスのライブが行われるなど、企画が盛りだくさんです。研究発表や研究室公開など、さすが大学といった学術企画も要チェックです。

中間試験 / 6月中旬～下旬頃

授業によって中間試験の有無が異なるので、シラバスやTACTの確認は必須です。中間試験があると、講義内容が膨大なものでも期末試験の負担が減るので、助かる場合もあります。

期末試験 / 7月下旬～8月上旬

8月上旬から夏休みが始まります。しかし！その前に春学期の総決算である期末試験があります。試験形式は授業によって様々で、高校と同様に問題を解いていくものもあれば、「○○について1,000字以内」など、文字数指定のうえでレポートを書く試験もあります。また、自分で書いたノートや授業プリントの持ち込みが認められている場合も。試験がない代わりに、出席点と毎週のレポートのみで成績が決まる授業もあります。テスト形式を早めに把握することが大切です。



夏休み /8月～9月

春学期の試験を乗り越えるとついに夏休み。大学生の夏休みはなんと8月～9月の約2ヶ月と長く、何の予定も立てずにいると非常にもったいないことに。自動車免許の取得や国内・海外への旅行、バイト・サークルに勤しむなど過ごし方は人それぞれです。しかし学部によっては集中講義があったり、9月中旬に秋学期の履修登録をしなければならなかったりと、遊んでばかりいるわけにもいきません。特に履修登録を忘れるとき、秋学期の授業が受けられなくなるので気をつけましょう。

春学期成績発表 /8月下旬

春学期の成績はWebで発表されます。名古屋大学ポータル(<https://portal.nagoya-u.ac.jp/portal>)という名大的ポータルサイトから自分の成績を確認できます。

秋革祭・ホームカミングデイ/10月中旬

秋革祭と書いて「しゅうかくさい」と読みます。6月の名大祭に比べると小規模な大学祭です。南山大学、中京大学など近隣の他大学の大学祭はこの時期に行われます。

ホームカミングデイは秋革祭と同日に開催される、名古屋大学の同窓生やその家族・友人を対象としたイベントです。名大の教育・研究の成果を発信するための多種多様な企画や、在学生の保護者向けの企画が開催されています。

中間試験 /11月下旬～12月上旬頃

冬休み /12月下旬～1月上旬

クリスマス辺りから1月の第1週までの約2週間の休暇。冬休みの最初や最後は、補講が入ってくる場合もあります。一人暮らし生の中には、帰省して正月を過ごす人もいれば、バイトや課題のために帰省しない人もいます。

期末試験 /1月下旬～2月上旬

春休み /2月～3月

春休みも夏休みと同様、約2ヶ月あります。冬ならではのスキー・スノボに出かける人も。部活・サークルでは、卒業生を送り出す追い出しコンペや、新入部員を獲得するための準備をします。もちろん、秋学期の成績発表や再試験、来期の履修登録もあるので気をつけて下さい。